

調査速報

外食需要動向（2019年8月）

客数が前年水準を上回り、外食産業  
売上高は前月の落ち込みから回復

主任研究員

佐橋 官

045-225-2375

sahashi@yokohama-ri.co.jp

要約

- 2019年8月の全国の1世帯あたり実質外食支出は前月比1.0%増（前年同月比2.3%増）となった。東日本では前月の梅雨寒から一転、平年を上回る気温となったことなどから、総じて家計の外出が活発になり、外食機会が増加したと推察される。
- 8月の外食産業売上高（名目値）は前年同月比3.4%増となり、前月の落ち込みから回復した。
- 外食産業売上高の内訳をみると、客単価（同2.2%増）の上昇傾向が続いていることに加え、当月は客数（同1.2%増）も前年同月の水準を上回り、売上高を押し上げる要因となった。

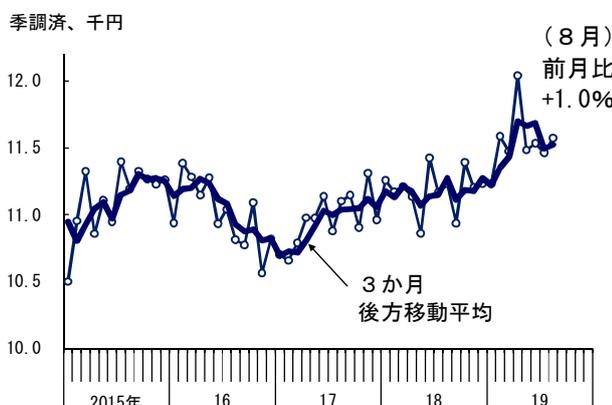
1. 8月の家計の実質外食支出は前月の水準を上回る

総務省「家計調査」に基づく2019年8月の全国の1世帯あたり実質外食支出（用途別分類、2人以上の世帯、学校給食を除く、実質化および季節調整は浜銀総合研究所が実施）は、前月比1.0%増（前年同月比2.3%増）となった（図表1）。西日本では台風（8号、10号）の上陸や豪雨に見舞われたものの、東日本では前月（2019年7月）の梅雨寒から一転、平年を上回る気温となったことなどから、総じて家計の外出が活発になり、外食機会が増加したと推察される。

2. 外食産業売上高は前年同月の水準を上回る

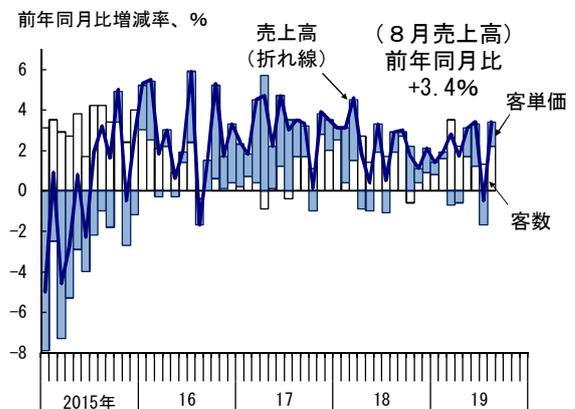
一般社団法人日本フードサービス協会が発表した「外食産業市場動向調査」によると、大手外食チェーンの8月の外食産業売上高（名目値）は前年同月比3.4%増となり、前月（7月）の落ち込みから回復した（図表2）。売上高の内訳をみると、客単価（同2.2%増）はメニュー価格の引き上げや季節限定メニューの投入等により上昇傾向が続いている。また、客数（同1.2%増）も前年同月の水準を上回り、売上高を押し上げる要因となった。当月の客数の伸びは前述の東日本における天候回復に加え、前年よりも土曜日が2日多いという曜日の配列などが影響したと考えられる。

図表1 実質外食支出は前月比プラス  
（全国、2人以上の世帯、季調済）



注1：総務省「家計調査」の用途別分類「一般外食」。  
注2：実質化と季節調整は浜銀総合研究所が実施。  
出所：総務省「家計調査」より浜銀総合研究所作成

図表2 外食産業売上高は前年同月比プラス  
（全国、全店）



注1：全店とは、既存店と新規店の合計。  
注2：売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。  
出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

3. 家族向けのキャンペーンなどにより、ファストフードの客数が増加

もともと、当月の客数の伸びは業態により大きく異なる（図表3）。業態別に客数の動きをみると、「ファストフード」は前年同月比2.6%増となった（図表4）。大手チェーンが夏休み期間中の家族客をターゲットに一部メニューの増量や値引きなどを実施したことが一因と考えられる。特に「和風」の客数の伸びが高く（同4.5%増）、大手牛丼チェーンが小学生以下は牛丼並盛りを半額とするキャンペーンを期間限定で実施したことが業態全体の客数を押し上げたと推察される。

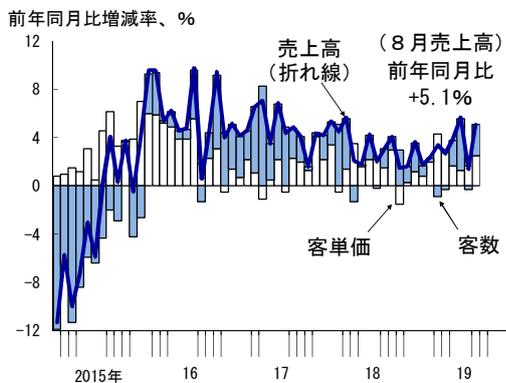
これに対して、「ファミリーレストラン」の客数は前年同月比1.0%減と同前年同月の水準を下回った（図表5）。一般社団法人日本フードサービス協会によると、同業態のうち「洋風」と「和風」に関しては禁煙店舗の増加が客足に影響した面があるとのことである。一方、「焼き肉」は同9.7%増と前年同月の水準を大きく上回った。同業態は休日の集客が多いという特性があり、当月は前年に比べて土曜日が2日多かったことなどが客数を押し上げたと推察される。

図表3 業態別の外食産業売上高（2019年8月、全店）

業種	（前年同月比増減率）				
	店舗数	売上高	店舗数	客数	客単価
全体	35,544	3.4%	-0.1%	1.2%	2.2%
ファストフード	19,275	5.1%	0.4%	2.6%	2.5%
洋風	6,369	4.5%	-0.2%	1.3%	3.1%
和風	5,188	6.3%	1.2%	4.5%	1.7%
麺類	3,228	4.6%	1.4%	3.3%	1.3%
持ち帰り米飯/回転寿司	1,890	4.0%	-0.7%	1.6%	2.4%
その他	2,600	7.5%	0.1%	1.4%	6.1%
ファミリーレストラン	9,646	1.9%	-0.3%	-1.0%	2.9%
洋風	4,877	0.4%	-0.9%	-2.6%	3.2%
和風	1,918	-1.9%	-2.1%	-2.5%	0.6%
中華	1,434	3.8%	1.7%	3.1%	0.7%
焼き肉	1,417	10.0%	2.3%	9.7%	0.3%
バブ・居酒屋	2,312	-0.4%	-3.1%	-1.1%	0.7%
バブ・ビアホール	331	4.6%	-1.8%	1.6%	3.0%
居酒屋	1,981	-1.9%	-3.3%	-2.1%	0.2%
ディナーレストラン	1,006	3.5%	-1.3%	2.3%	1.2%
喫茶	2,041	6.1%	0.9%	1.9%	4.2%
その他	1,264	-4.7%	-2.5%	-6.8%	2.3%

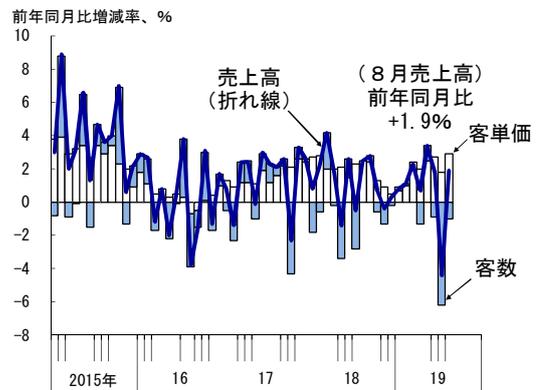
注1：全店とは、既存店と新規店の合計。  
 注2：売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。  
 出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

図表4 ファストフード売上高の推移（全店）



注1：全店とは、既存店と新規店の合計。  
 注2：売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。  
 出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

図表5 ファミリーレストラン売上高の推移（全店）



注1：全店とは、既存店と新規店の合計。  
 注2：売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。  
 出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。